令和7年度 新技術農業機械化推進研修（オンライン研修）

精密農業・自動化コース I（ドローン・アシストスーツ）

令和7年9月5日（金）

（定員：30名）

（研修のねらい）

農村の高齢化、農家人口の減少等の課題に対する技術として、ロボット技術やICTを活用した超省力生産技術が注目されている。本コースでは、ドローンの農業分野への利用とアシストスーツについての理解を深めることを目標とする。

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容
9 / 5 (金)	午前	10:50～ 開講式・オリエンテーション 11:00～12:00 農業へのドローン利用の現状と課題 (講師：農研機構 農業環境研究部門 土壌環境管理研究領域 農業環境情報グループ グループ長 石塚 直樹)	リモートセンシング技術を利用した農業の可能性について
	午後	13:15～14:45 ドローン（マルチローター）を利用した病虫害防除について (講師：西日本スカイテック株式会社 菱沼 直樹) 15:00～16:15 農作業アシストスーツの説明及び装着について (講師：株式会社イノフィス 営業部 マネージャー 長澤 幸佑) 16:15～ 閉講式	無人航空機による空中散布における制度の現状と今後の動向、法規制関係、ドローン活用事例（茨城県） 飛行実演（動画） 農業現場における中腰作業や重量物運搬作業等において、腰部への負担を軽減するアシストスーツ 実演（動画）

（注） 1：オンラインはWebexを使用して実施します。

2：事前に接続テストを実施します。

3：最少実施人数：3名